

はじめに

訪日外国人が年々増加していることは昨今報道されている通りですが、同時に日本に長期間滞在したり、定住したりして、公教育を受けるということも普通になってきています。けれど、在籍期間が2年を超えて、日常会話に不自由しなくなった子どもたちでも、教科理解に必要な日本語が不十分なために、あるところから先、学力が伸び悩み、進学したくてもできなかったり、進学できても高校・大学等の授業についていけないことが少なくないのです。来日2年以下の生徒だけでなく、2年以上の生徒にも日本語指導が必要であるという文部科学省の調査があります。換言すれば、母語を使用しながら、第二言語として日本語能力を高めるための教育が必要であるということです。

では現状はとなると、それぞれの発展段階に応じた教材が不十分で、特に学校生活を送りながら日本語能力を高めていく視点に立脚した教材の開発は遅れていると言わざるを得ません。様々な教科にわたって関連する学習用語を第二言語としての日本語で直接理解していく必要があるのです。従って、もしこれら学習関連語彙も含める形でもっと効率的に学習できる教材ができ、自学自習やボランティア学習など学校外の学習の場も利用できれば、日本語能力が向上し、日本語生活をより豊かにできると考えられます。

そこで、特定非営利活動法人中学・高校生の日本語支援を考える会が中心となり、学習語彙教育を推進させ、授業に役立てるための「教科につなげる学習語彙」シリーズが出版されました。これまで、ポルトガル語編、スペイン語編(5000語)、中国語編(6000語)などがあります。本書はそのモンゴル語編(6018語)とも言べきもので、日本の文化と大幅に異なることを考慮して、やや語彙と例文を増強して編集してあります。自学自習の習慣を身につける上で役立つ工夫を随所に取り入れています。例えば、詳細は「この本の使い方」に記されている通りですが、見出し語全部によく使われる日本語の例文を付す、漢字全てに平仮名をふる、暗記した語を確認するチェック欄を作るなどです。

本書で新しい語彙の意味を調べ、その使い方を理解し暗記することで、読解力や第二言語で思考する言語能力を育成することを期待します。予習に利用することで授業理解に役に立ち、シナジー効果を期待でき、ボランティアとの対話を通じてそれを一層強化していくことができるでしょう。また、家庭では本書の例文を話題にして祖国の文化との差異などを母語で比較検討すれば、ややもすれば衰えがちな母語の能力を維持し、個人としての意見の醸成に役立つことでしょう。こうして、二言語二文化の世界にありながら、ダブルリミティッドにならず、バイリンガルとして多文化共生の社会で将来活躍されることを真に願っております。

モンゴル国の首都ウランバートルにある国立大学で始まった日本語教育が今年丁度40周年記念を迎えます。当時はモンゴル人民共和国という社会主義国であったので、今ほど自由な活動は行えず、特定の人にしかビザが発給されませんでした。この時国立大学第七代日本人講師として一年間滞在できたのも何かの縁なのでしょう。多くの純粋な学生たちや熱心な先生たちと知り合うことができました。今回私がモンゴル語に翻訳した全文をチェック、訂正してくださったナランツェツェグ先生は当時日本語科の先生でした。彼女の援助なしには本書は完成できなかったでしょう。下手なモンゴル文を丁寧に直して下さい、ここに、改めて心より御礼申し上げます。

また、本書の刊行にあたり、樋口万喜子氏(日本語・教科学習支援ネット代表)にお世話になりました。合わせて御礼申し上げます。

神奈川県農業技術センター
かながわ農業アカデミー
情報処理 講師
清水幹夫

この本の使い方

☆辞典・学習書として使う場合

知らない意味の語があったら

- ① 五十音順に並んでいる「見出し語」から見つけます。
- ② 漢字・品詞・意味を確認します。同音でも漢字や品詞が異なれば意味が違います。
- ③ 「日本語用例文」を読んで、どのように使われるのか確認します。
- ④ 「モンゴル語対訳」を読んで、自分が日本語として理解した意味と同じであったかどうか確認します。もし、違っていたらなぜか考えましょう。
- ⑤ 意味と使われ方が理解できたところで、声に出して「日本語用例文」を言ってみます。
- ⑥ 「日本語用例文」を隠して、モンゴル語対訳を日本語に直す練習をします。
- ⑦ 「日本語用例文」は基本的な文型なので、すらすら言えるまで、繰り返し声に出します。
- ⑧ 覚えたら、単語のチェック欄□に☑を記入しておきます。暗記した日本語の語彙が増えていくことが見えてきますし、やる気が出ることでしょう。
本書にどんどん書き込みをして、「自分だけの日本語学習語彙用例集」にしましょう。

☆教科書として教えてもらう場合

指導者やボランティアの人に依頼する

指導者やボランティアの方へ：教示用一例

- ⑦ ① 「住む」の項の日本語文を読ませてから、モンゴル語で意味を理解させます。
- ② 日本語用例文を見たま「田中先生は学校の近くに～」と言って、続きを促します。
- ③ 未来のことを「住みます」で、過去のことなら「住んだ」で言わせます。
- ④ 次に何も見ずに、「田中先生は～」を続きを促し、言わせる練習をします。
- ⑧ モンゴル語対訳を見せ、日本語用例文を全部言わせます。(理解・未理解部分を確認)
- ⑨ 「田中先生」「学校の近く」「住んでいる」とヒントを出し、助詞接続の練習をします。
- ⑩ 次に同音異義語「済む」の欄を見させ、上記⑦のような練習をします。
- ⑪ 「試験は済んだ？」「昼ごはんは済んだ？」のようなQ&Aで表現に慣らしてもいいです。
- ⑫ 「済む」には他の用法があるので、同様に練習します。
- ⑬ 「澄む」とも同音異義であることを確認し、「澄む」について同じように練習します。

凡例

見出し語

- ① 見出し語の立て方は『例解新国語辞典』(三省堂)を第一の基準とした。
また、適宜『大辞林』(三省堂)、『明鏡国語辞典』(大修館)も参照した。
- ② 五十音順に6,018語を配列した。
- ③ 省略形のある場合は、見出し語欄では省略せずに、スペースの都合により、漢字表記欄の方に省略部分を()に入れて表記した。

例) アルミニウム→アルミ(ニウム)、デフレーション→デフレ(ーション)

- ④ 常用漢字(1,945字)、同付表(116字)、新常用漢字(2010年11月追加196字)及び人名用漢字別表にあり、音訓が常用漢字表で示されているものを「漢字表記」欄に表記した。
- ⑤ 漢字表記欄に漢字がない場合は、④の理由によるが、実際には漢字表記することもある。また、漢字欄に記載されていても、普段はあまり漢字表記しないか、まったくされない場合もある。例文には漢字表記しないことで、平仮名書きが普通であることを示した。従って、日本語用例文で漢字が使われていない場合、その漢字は覚える必要はない。

例) 見出し語 漢字表記 日本語用例文

・ ひずみ …、ひずみが出る。

漢字表記は空欄だが「歪」を使うこともある

・ つく 付く ぜい肉が付く。

つく 付く 今日がついている。

漢字はあっても、平仮名書きが普通である

また、複数の品詞を持つ語では、副詞を普通漢字表記しない。

例) 見出し語 漢字表記 品詞

・ わりあい 割合 名詞

わりあい 副詞

・ けっこう 結構 形容動詞

けっこう 副詞

また、^あ ^じ ^{ばあ} ^い ^{じょう} ^{かん} ^じ ^{じょう} ^{かん} ^じ ^{ひょう} ^き
当て字の場合、常用漢字であっても普通漢字表記しない。
例) ^{れい} ^み ^だ ^ご ^{かん} ^じ ^{ひょう} ^き
見出し語 漢字表記

・ ^め ^で ^た ^{ひょう} ^き
めでたい「目出度い」と表記しない。

^{はん} ^{だん}
判断は『例解新国語辞典』(第六版)三省堂(2002)

『小学新国語辞典』(初版)光村教育図書(2005) において、「^が ^ふ ^つ ^う、^か ^な ^し ^き」とある場合。^{ばあ} ^い

^ほ ^か
他に 日本速記協会『標準用字用例辞典』

共同通信社『記者ハンドブック』

時事通信社『最新用字用語ブック』

朝日新聞社『朝日新聞の用語の手引』

読売新聞社『読売新聞用字用語の手引』

毎日新聞社『毎日新聞用語集』

日本放送協会『NHK新用字用語辞典』

三省堂『現代国語表記辞典』

講談社『日本語の正しい表記と用語の辞典』

文英堂『21世紀日本語表記辞典』など参照。^{さん} ^{しやう}

品詞名など

① 品詞の認定は前掲『例解新国語辞典』を基準としたが、『大辞林』、

『明鏡国語辞典』、『日本国語大辞典』(小学館)も参照した。

分類と略記は次の通り

名詞→名、代名詞→代、動詞→動、補助動詞→補動、形容詞→形、形容動詞→形動、副詞→副、

接続詞→接、感動詞→感、連体詞→連、助詞→助、助動詞→助動、接尾語→接尾

尚、^な ^お「^か ^な ^わ ^な ^い」「^し ^か ^た ^が ^な ^い」「^つ ^い ^て」「^つ ^れ ^て」などは上記分類に該当しないので、品詞名を表記していない。^{ひん} ^{しめい} ^{ひょう} ^き

- ② ^{どうさめいし}動作名詞、^{ふくし}副詞、^{がいらいご}外来語、^{ぎたいご}擬態語などが語尾に「する」を伴って動詞化するものは、サ変動詞とし、(する)のようにした。
- 例) ^{れい}見出し語 ^{みだしご}漢字表記 ^{ひんし}品詞

- ・ あくしゅ 握手(する) 名・動
- ・ ざらざら ざらざら(する) 副・動
- ・ コピー コピー(する) 名・動

- ③ ^{ふた}二つ以上の^{いじょう}品詞を持つ語は一つの^{ひんし}見出し語としてまとめた。品詞により、意味が異なるものは別に例文を作成した。
- ただし、スペース、その他の関係で品詞が名・動の時に例文が一つのものと、二つのものがある。

^{ごい}語彙の^{ごやく}モンゴル語訳

^{がくしゅうごい}学習語彙である^{みだしご}見出し語の^{ごやく}モンゴル語訳は^{ようれいぶん}用例文で^{しよう}使用されている^{いみ}意味を^{こうりよ}考慮して^{きさい}記載した。

^{にほんごようれいぶん}日本語用例文

^{すべ}全ての^{かんじ}漢字に^{ひらがな}平仮名を付けてよく^{つか}使われる^{にほんぶん}日本文を例としてあげた。

- ① ^{どうしょくぶつめい}動植物名は^{じょうようかんじひよう}常用漢字表、^{じんめいかんじべつひよう}人名漢字別表にあれば^{かんじ}漢字、なければ^{ひょうき}カタカナ表記とした。

例) ^{れい}熊、^{くま}イルカなど。

- ② ^{すうじひょうき}数字表記の語、^ご数字を含む語は^{すうじふく}原則として、^{げんそく}アラビア数字(算用数字)であるが、^{すうじさんようすうじ}語の一部になっているものや、^{じゆくご}熟語は^{かんじ}漢字とした。

例) ^{れい}見出し語 ^{かんじひょうき}漢字表記

- ・ みかづき 三日月
- ・ いっしょうけんめい 一生懸命
- ・ ひとりひとり 一人ひとり

補足

① 語彙の選定について¹

日本語を母語としない生徒が在籍する神奈川県内の中学校・高校を訪問し、理解度に関する語彙調査と、生年月日・来日年・通校までの期間・家庭内使用言語等に関する言語環境調査²を合わせ3回実施した。この時、先生方や日本語指導員ら20数名に、生徒の教科学習に必要と思われる語を下記仕様の台帳(約6,000語)より5,000語を選択してもらうと同時に、未掲載であっても教師が学習者に具体的な事物として示しづらい語や、既知な語として授業説明に使用しているものの初期指導直後では理解が及ばないであろう語などをそれぞれの視点で追加していただいた。

・「第一水準約3000語」・「第二水準5000語」,文化庁国語課(1983),『日本語教育のための基本語彙調査』「基本語二千」・「基本語六千」国立国語研究所(1984),「中級用語彙-基本4000語」玉村文郎(『日本語教育』116号、2003),さらに、『中学校教科書の語彙調査』国立国語研究所(1986・1987)(頻度2以上)に該当するかが判る一目一覧表を台帳とする。

この集計結果を研究会³で分析・検討し、協力いただいた各校に調査報告を行った。

その後、研究会では、社会的必要性を考え、日本語能力検定1級の拠り所となっている『一万語語彙分類表』⁴に記載されているかどうかなども勘案するとともに、「学習者が、教科学習において、情報を収集・比較・分析・推測・統合する等認知・思考活動に必要な語」を学習語彙と定義し、5,012語の学習語彙を選定した。また、これらの語彙を学会で発表し⁵、インターネットで自由にダウンロードできるようにすることで⁶、世に問うことにした。

幸い賛同者を増やす結果となり、樋口(2008)⁷は13名の用例文作成者、17名の翻訳者、6名の編集補助者らの協力を得、『用例学習語彙5000語』を上梓した。総員40名近い協力者と家族を含んでの地道な努力がここに結実した。テキストを実際に使用した指導者の方々からの語彙増強の要望をうけて、樋口ら(2011)⁸は学習語彙を約1,000語増やし、中国語版を出版した。

本書はこの見出し語(6,005語)を踏襲し、6,018語とした。また、例文は80増やし、7,293文とした。

注

- 1 詳細については、樋口万喜子(2008)『学習語彙5000語(日・スペイン語対訳)』pp.280-283、特定非営利活動法人中学・高校生の日本語支援を考える会(2013年4月「特定非営利活動法人日本語・教科学習支援ネット」と改称)、を参照されたい。
- 2 樋口万喜子(2005)「日本語を母語としない中学・高校生の語彙調査」 帰国者センター
- 3 2003-04年度「横浜国立大学外国籍生徒のための日本語教育研究会」のこと。メンバーは代表・黒田矢須子(横浜国立大学)、樋口万喜子(神奈川県立神奈川総合高等学校)、清水幹夫(神奈川県立湘南高等学校)、斎藤京子(伊勢原市立伊勢原中学校)、後藤邦昭(横浜市立矢向中学校) 括弧内は当該年度の勤務地
- 4 専門教育出版『日本語学力テスト』運営委員会(1998)
- 5 第14回第二言語習得研究会全国大会発表(発表者:樋口万喜子、於:横浜国立大学、2003年12月)、及び2004年日本語教育国際研究大会発表(発表者:黒田矢須子、樋口万喜子、於:昭和女子大学、2004年8月)
- 6 当時のままの語彙としては、<http://www53.atpages.jp/snmzmk/hajimeni.shtml> また、http://nihongoshien.la.coocan.jp/nihongodaisuki/?page_id=986
- 7 樋口万喜子(2008)『学習語彙5000語(日・スペイン語対訳)』特定非営利活動法人中学・高校生の日本語支援を考える会
- 8 樋口万喜子・古屋恵子・頼田敦子(2011)『教科につながる学習語彙6000語(日中対訳)』ココ出版

②モンゴル語翻訳者について

清水幹夫(しみず みきお)

1953年品川区生まれ。東京外国語大学大学院アジア第一言語専攻修了。明星高等学校英語講師、モンゴル国立大学第7代日本語外国人講師、神奈川県立高等学校英語教諭などを経て現在、神奈川県農業技術センターかながわ農業アカデミー 情報処理講師。

主著： 『電子日蒙索引(辞書)』見出し語 7,564語 (オンライン辞書、2001年)

編集： 『電子モンゴル語辞典』小沢重男著(CD版見出し語24,934語・派生語7,000語・句15,000語・用例3,000、未出版、2001年)

翻訳： 「ダルハト方言(その1)」シャルフー著 モンゴル研究 第10号(日本モンゴル学会、1979年)

「ダルハト方言(その2)」シャルフー著 モンゴル研究 第11号(日本モンゴル学会、1980年)

主論文： 「モンゴル語アクセントの特徴」音声学会会報 第162号(日本音声学会、1979年)

「モンゴル語ハルハ方言の音節構造」音声 言語の研究 第1号(東京外国語大学音声学研究室、1980年)

"Орчин цагийн монгол хэлний өргөлтийн тухай" 世界モンゴル学者大会 研究発表 (ウлаанбаатар、1982年)

"The Accent of Modern Mongolian" 吉沢典男教授追悼論文集(東京外国語大学音声学研究室、1989年)

「モンゴル語の音韻変化とアクセント」小沢重男教授退官記念論文と思い出の記(時潮社、1993年)

映画字幕翻訳：

ツェー ナワー監督ドキュメンタリー短編映画"Түмний эх" (1969年制作) ベゲゼジャブ チンバト氏と共訳(東京、1978年) など。

③モンゴル語更正者について

Дамбадаржаа НАРАНЦЭЦЭГ (ダムバダルジャー ナランツェツェグ)

ドルノゴビ生まれ。72年モンゴル国立大学文学部日本語専攻第1期生。卒業後同大学の日本語教師になる。91年来日し、JICAで初のモンゴル語講師となる。93年より福島県二本松訓練所に於いて渡蒙する青年海外協力隊員たちにモンゴル語を教え現在に至る。

主著：

『日本モンゴル語基礎辞典』(大学書林、1998年)

『蒙日会話集』(共著、モンゴル国立大学、1990年)

『モンゴル人のための日本語教科書』(共著、モンゴル国立大学、1998年)

『モンゴル語慣用句用例集』(共著、大学書林、2012年)

訳著：

開高健著 『裸の王さま・パニック』(モンゴル語版、モンゴル日本文化文学センター、1999年)

映画字幕翻訳：

椎名誠監督作品 『海・空・サンゴの言い伝え』(モンゴル語版、1994年)

同上監督作品 『白い馬』(モンゴル語版、1995年)、など。